

大崎地方合併協議会

第4回教育検討小委員会

日時：平成15年11月4日(火)

午後1時30分

場所：鹿島台町 鎌田記念ホール

次 第

1 開 会

2 開会あいさつ

3 協議事項

(1) 市立学校の通学区域の取扱いについて……………P.1

(2) 義務教育施設の課題と合併後の取扱いについて……………P.7

(3) 幼稚園・社会教育施設の現況について……………P.8

(4) 次回会議の開催について……………P.19

4 その他

5 閉会あいさつ

6 閉 会

協議事項（１）

市立学校の通学区域の取扱いについて

（案）

協議第１０号（継続協議）

市立学校の通学区域の取扱いについて

市立学校の通学区域の取扱いについては、次のとおり提案する。

平成１５年 月 日

大崎地方合併協議会
会 長 佐々木 謙 次

協定項目 2 5 - 2 2	市立学校の通学区域の取扱い
通学区域の取扱いについては、当面現行のままとするが、区域境の地域については、弾力的運用に努める。また、児童生徒の動向を踏まえ、新市において速やかに各学校の適正規模、適正配置の検討と合わせて通学区域の見直しを行う。	

平成 1 5 年 7 月 7 日 提 案

平成 1 5 年 月 日 再提案

大崎地方合併協議会の調整方針

協定項目No,	25 - 22	小委員会名	教育検討小委員会
協定項目	各種事務事業の取扱い	専門部会名	教育部会
細目	市立学校の通学区域の取扱い	分科会名	教育委員会分科会, 学校教育分科会

調整の方針(方法)	通学区域の取扱いについては、当面現行のままとする。ただし、新市において通学区域境の地域については弾力的運用に努める。また、各学校の適正規模、適正配置と合わせて通学区域の見直しを必要に応じて検討する。
-----------	---

事務事業名	現況							調整の方針(方法)
	古川市	松山町	三本木町	鹿島台町	岩出山町	鳴子町	田尻町	
小学校の通学区域	古川第一小学校 荒川小金町, 浦町, 川端, 城西, 千手寺町, 塚目, 七日町, 西館, 二ノ構, 古川, 三日町, 稲葉の一部, 諏訪の一部, 十日町の一部, 中里の一部, 前田町の一部, 南町の一部, 米倉の一部 古川第二小学校 旭, 駅東, 駅前大通, 幸町, 李埵, 台町, 鶴ヶ埵, 東町, 福沼, 馬寄, 養口沼, 北町の一部, 十日町の一部, 中里の一部 古川第三小学校 稲葉1~4丁目, 駅南, 金五輪, 境野宮, 中島町, 南新町, 米袋, 稲葉の一部, 北稲葉の一部, 中里の一部, 古川第四小学校 江合寿町, 江合錦町, 江合本町, 大宮, 福浦, 若葉町, 北町の一部, 小泉の一部 諏訪の一部, 前田町の一部 古川第五小学校 小稲葉町, 栄町, 西荒井, 稲葉の一部, 北稲葉の一部, 南町の一部, 米倉の一部 志田小学校 渋井, 上中目, 飯川の一部, 保柳の一部 西古川小学校 荒田目, 柏崎, 齋下, 新堀, 耳取, 南沢, 飯川の一部, 保柳の一部 東大崎小学校 大崎, 清水, 新田, 小泉の一部, 小林の一部 宮沢小学校 川熊, 桜ノ目, 宮沢, 小林の一部, 小泉の一部 長岡小学校 荒谷, 小野, 沢田, 長岡 富永小学校 上埵, 狐塚, 下谷地, 富長, 長岡針, 淵尻, 馬放, 馬柳, 休塚 敷玉小学校 石森, 大幡, 桑針, 下中目, 楡木, 深沼, 宮内, 師山 中里の一部	松山小学校 千石, 次橋, 金谷, 長尾, 須摩屋 下伊場野小学校 下伊場野 (大字による区分)	三本木小学校 秋田, 蟻ヶ袋, 伊賀, 伊場野, 音無, 上伊場野, 桑折, 斉田, 坂本, 三本木, 新町, 高柳, 新沼, 蒜袋, 南谷地 (大字による区分)	鹿島台小学校 平渡, 木間塚, 船越, 広長, 深谷の一部 鹿島台第二小学校 大迫, 深谷の一部 (大字による区分)	岩出山小学校 東昌寺沢, 大学町, 川原町, 北町, 南町, 通丁, 浦北, 浦南, 轟, 新橋, 東川原町, 中里, 要害の一部, 八幡の一部 岩出山小学校川北分校 川北 西大崎小学校 八幡, 白鳥, 薬師, 馬主 上野目小学校 宿, 一の坪, 天王寺, 大保, 山谷, 要害の一部, 菅生の一部 池月小学校 上宮, 鷗目, 下宮, 駅前, 沖, 根岸, 菅生の一部 真山小学校 小倉, 上馬館, 下馬館, 黄金田, 大坪, 小坪, 小松川 (行政区による区分)	中山小学校 中山西, 中山東 鳴子小学校 上鳴子, 上野々, 湯元, 新屋敷, 車湯, 岩淵, 見手野原, 東鳴子, 中野 川渡小学校 石ノ梅, 沢, 向山, 川渡, 上川原, 鍛冶谷沢, 南野際, 北野際, 黒崎, 小身川原, 上原 鬼首小学校 蟹沢, 小向, 川東, 原, 田野, 中川原, 軍沢, 寒湯, 岩入西, 岩入東 (行政区による区分)	田尻小学校 田町, 元町, 仲・荒町, 横町・河岸前, 新町, 北牧ノ目, 通木, 大嶺1・2, 大嶺3, 八幡, 南小松, 北小松, 沼木・諏訪峠, 中目, 大杉 沼部小学校 木戸・木戸北山, 百塚・上高野, 沼部・峯崎, 貝ノ堀, 若林, 葉山・上北山, 富岡・下高野, 桜田, 谷地中, 北小塩, 中・南小塩, 百々・荒町, 大沢, 北小牛田上, 北小牛田下, 下高野 大貫小学校 北長根, 北又, 上南・曲田, 新田ノ目, 宿・鹿飼, 長根, 舞岳, 中沢目, 伸崩, 小沢, 長沢 (行政区による区分)	通学区域の取扱いについては、当面現行のままとする。ただし、新市において通学区域境の地域については弾力的運用に努める。また、各学校の適正規模、適正配置と合わせて通学区域の見直しを必要に応じて検討する。

大崎地方合併協議会の調整方針

協定項目No,	25 - 22	小委員会名	教育検討小委員会
協定項目	各種事務事業の取扱い	専門部会名	教育部会
細目	市立学校の通学区域の取扱い	分科会名	教育委員会分科会, 学校教育分科会

事務事業名	現況							調整の方針(方法)
	古川市	松山町	三本木町	鹿島台町	岩出山町	鳴子町	田尻町	
中学校の通学区域	<p>清滝小学校 雨生沢, 北宮沢, 清滝, 清水沢 高倉小学校 矢目, 引田, 堤根, 中沢, 新沼 (大字による区分)</p> <p>古川中学校 荒川小金町, 稲葉1~4丁目, 稲葉, 浦町, 大宮, 川端, 北稲葉, 小稲葉町, 栄町, 城西, 諏訪, 千手寺町, 塚目, 中島町, 七日町, 西荒井, 西館, 二ノ溝, 古川, 前田町, 三日町, 南新町, 南町, 米倉, 米袋, 若葉町 江合寿町の一部, 金五輪の一部, 北町の一部, 小泉の一部, 十日町の一部, 中里の一部, 福浦の一部 古川東中学校 旭, 石森, 江合錦町, 江合本町, 駅前大通, 駅前, 大幡, 桑針, 幸町, 境野宮, 下中目, 李塚, 台町, 楡木, 鶴ヶ塚, 東町, 深沼, 福沼, 馬寄, 藁口沼, 宮内, 師山, 江合寿町の一部, 北町の一部, 金五輪の一部, 十日町の一部, 中里の一部 古川北中学校 雨生沢, 荒谷, 上埜, 北宮沢, 清滝, 小野, 川熊, 狐塚, 桜ノ目, 宮沢, 沢田, 清水沢, 下谷地, 富長, 長岡, 長岡針, 淵尻, 馬放, 馬櫛, 休塚, 小林の一部, 小泉の一部 古川西中学校 荒田目, 飯川, 石森, 大崎, 大幡, 上中目, 柏崎, 桑針, 齋下, 洪井, 清水, 下中目, 楡木, 新田, 新堀, 深沼, 保柳, 耳取, 南沢, 宮内, 師山, 小泉の一部, 小林の一部 (大字による区分)</p>	<p>松山中学校 千石, 次橋, 金谷, 長尾, 須摩屋 下伊場野 (大字による区分)</p>	<p>三本木中学校 秋田, 蟻ヶ袋, 伊賀, 伊場野, 音無, 上伊場野, 桑折, 斉田, 坂本, 三本木, 新町, 高柳, 新沼, 蒜袋, 南谷地 (大字による区部)</p>	<p>鹿島台中学校 平渡, 木間塚, 船越, 広長, 深谷, 大迫 (大字による区部)</p>	<p>岩出山中学校 東昌寺沢, 大学町, 川原町, 北町, 南町, 通丁, 浦北, 浦南, 轟, 新橋, 東川原町, 川北, 中里, 要害, 八幡, 白鳥, 薬師, 馬主, 宿, 一の坪, 天王寺, 大保, 山谷, 菅生, 上宮, 鷗目, 下宮, 駅前, 沖, 根岸, 小倉, 上馬館, 下馬館, 黄金田, 大坪, 小坪, 小松川, (行政区による区分)</p>	<p>鳴子中学校 中山西, 中山東, 上鳴子, 上野々, 湯元, 新屋敷, 車湯, 岩淵, 見手野原, 東鳴子, 中野 川渡小学校 石ノ梅, 沢, 向山, 川渡, 上川原, 鍛冶谷沢, 南野際, 北野際, 黒崎, 小身川原, 上原 鬼首小学校 蟹沢, 小向, 川東, 原, 田野, 中川原, 軍沢, 寒湯, 岩入西, 岩入東 (行政区による区分)</p>	<p>田尻中学校 田町, 元町, 仲・荒町, 横町・河岸前, 新町, 北牧ノ目, 通木, 大嶺1・2, 大嶺3, 八幡, 南小松, 北小松, 沼木・諏訪峠, 中目, 大杉, 木戸・木戸北山, 百塚・上高野, 沼部・峯崎, 貝ノ堀, 若林, 葉山・上北山, 富岡・下高野, 桜田, 谷地中, 北小塩, 中・南小塩, 百々・荒町 大沢, 北小牛田上, 北小牛田下, 下高野 北長根, 北又, 上南・曲田, 新田ノ目, 宿・鹿飼, 長根, 舞岳, 中沢目, 伸筋, 小沢, 長沢 (行政区による区分)</p>	<p>通学区域の取扱いについては, 当面 現行のままとする。ただし, 新市におい て通学区域境の地域については弾力 的運用に努める。また, 各学校の適正 規模, 適正配置と合わせて通学区域 の見直しを必要に応じて検討する。</p>

教育検討小委員会会議報告書(案)

1 会議開催状況

回	日時	場所	出席委員	協議内容
1	8月11日(月) 13:30~17:00	三本木町 三本木町役場	16人	大崎地方(1市6町)小・中学校の通学区域の現況について 大崎地方(1市6町)義務教育施設の現況について
2	9月21日(日) 9:30~12:30	鳴子町 中央公民館	20人	小・中学校の通学区域の課題と 合併後の取扱いについて
3	10月9日(木) 13:30~16:25	田尻町 スキップセンター	19人	同 上
4	11月4日(火) 13:30~	鹿島台町 鎌田記念ホール	〃人	同 上

2 会議の経過

教育検討小委員会では、4回の会議を通じて、大崎1市6町の小・中学校の通学区域の現況を把握しながら、各委員のさまざまな視点から通学区域の取扱いに関連して次のような意見が出されました。

【通学距離に関連した意見】

現在の通学区域では、市町境や区域境の地域において、近くに学校があるのにわざわざ遠くの学校へ行かなければならないケースがある。合併により現在の市町境がなくなるので、通学区域を見直すことでより近くの学校へ通うことができるのではないかと。小学校・中学校ごとに適正な通学距離を考えながら学校を中心とした円を描いて通学区域をひくことで、それぞれ適正な規模の学校となるのではないかと。学校は地域とのつながりが深いので、距離の問題だけで通学区域を考えるべきではない。

【学校規模に関連した意見】

学校の規模に関わらず、どの学校に通っても同じレベルの教育を受けられるように環境を整備すべき。
大規模校については、教育効果の面から適正な学校規模を考えて、必要であれば学校新設も考慮しながら、通学区域のあり方を考えていくべき。
小規模校や複式学級の子どもたちは、地域に支えられてしっかりと学んでいる。小規模校は地域に根ざした活動ができるという利点がある。
複式学級の授業は、子どもたちにとって分かりにくいところがあるようだ。やはり、1クラスに1人の先生がいるのが理想であるし、広いものの見方のできる子どもを育てるような教育のあり方を考えるべきではないかと。
複式学級では、自学自習の態度が身に付く、異学年との協力ができる、読み書き計算の能力に優れている等のプラス面がある一方で、良い意味での競争意識が薄い、優劣の評

価が固定してしまう傾向がみられ、問題を掘り下げて考える態度が薄く、集団での活動内容が限られる等のマイナス面の両方があるが、できることならば複式学級は避けて、同一学年でクラスを編成すべき。

複式学級に補助教員を配置し、学習面での教育的配慮をすれば、異学年の子ども同士の交流が図られ、複式学級はかえってメリットになるのではないか。教育の質を高めて全体のレベルを上げることが大切である。

小規模校の解消や複式学級の解消の方法として学校を統廃合するという考え方でなく、通学区域を見直すことによって、学校は残したまま問題を解決できるのではないか。児童生徒数が増えすぎると大規模校を解消しなければならないという逆転現象が起きる。小規模校・複式学級の方がむしろ恵まれた環境といえるのではないか。通学区域としての貼り付け方を問題とするならば、通学区域を撤廃すればよいのではないか。

財政面から学校経営の効率化を考えた場合は、学校の統廃合が図られることもあるだろうが、財政面を学校ごとに考えるのではなく、一つの市としてどう配分していくかが問題。

【30人学級について】

30人学級が良くないという人はいないはず。しかし30人学級を実施する場合、教員増員のためにかかる費用や施設整備の費用は全て新市で負担しなければならない。新市でどれだけの予算が必要となるのかをみて判断すべき。

財政さえ許せば30人学級は大いに結構。世界を見れば、1クラス15人・20人という国もあり、30人でも多いくらいである。

財政面を考慮し、法律にのっとって進めるべき。

【学校選択制に関する意見】

学校選択制によって学校間の競争が教育の質を高め、子どもたちの人間的な素質を磨き、新市発展の基礎となる。

学校には伝統や歴史、地域性があるために簡単に通学区域を変えられない状況の中で、学校を選びたいという人がいるので、通学区域を設けずフリーにしたらいけないか。

学校選択制は、学校を選べるというより、学校側が勉強・スポーツ面から子どもの引き抜きをする方向で働かないか心配される。

学校選択制を認めることで、都市部の高校進学を考えて学校を選択する児童生徒が出てくると、周辺部の小規模校はますます児童生徒数が減少する恐れがあるので認めるべきでない。

東京都品川区等で行われているような学校選択制を導入した場合、児童生徒数が激減する学校があるのが現実で、慎重な取扱いが必要。

【通学区域の弾力的な取扱いに関する意見】

通学区域の見直しには多くの時間と労力を要するので、当分は通学区域制度の弾力的な運用をして対応すべきではないか。

区域外就学の取り決めを活用し、その上で通学区域そのものを変える必要がある場合は見直しを図るべき。

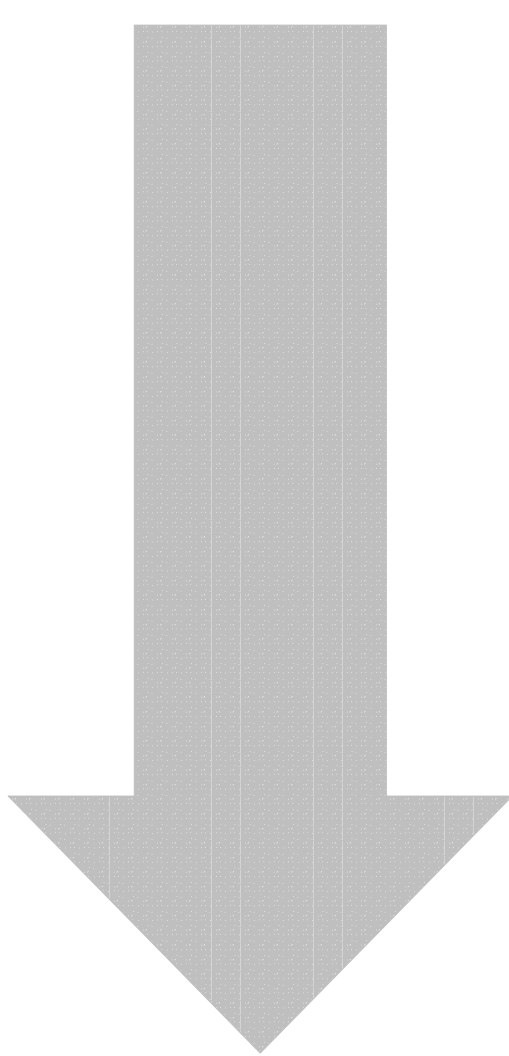
【その他】

学校の施設整備を行っていく中で通学区域の見直しは避けて通れない問題となるのではないか。

通学路の安全確保の面からも通学区域を考えてもらいたい。

人口の都市部への集中を防ぐために、新市では人口を流動化させる施策をとるべき。人口が減ったから学校を統廃合するという考え方では人口集中を助長させることになる。児童生徒数を維持させる施策は、人口14万人を維持しようとする施策にもつながるのではないか。

「昭和の大合併」の時の歴史的な背景を考慮しながら通学区域を見直すことで、児童生徒が増えて複式学級を解消して単式学級で学級編成できるうえ、児童生徒もより近い学校へ通うことができる地区がある。合併によってすぐに解決できるような問題から取り組んでももらいたい。



さらに、合併時に通学区域の見直すことそのものに対して、次のような意見が出され、当小委員会の付託に対する答申を下記のとおりまとめることとしました。

学校は地域コミュニティのシンボリックなもので、住民の理解が必要不可欠。限られた時間での議論では不十分であり、通学区域の変更は簡単に許されるものではない。

長い時間をかけて住民の理解を得ながら進めていくべきこと。

新市全体の学校経営のあり方・教育理念を捉える必要がある。それらが無いところでは適正とする学校規模が定まらず議論できない問題である。

新市になってまた新たな問題が発生することも考えられる。国の教育方針も変わる可能性がある。その時代にあった対応をすべき。

合併時には現状維持が望ましいが、合併後の将来方向について新市の教育委員会が的確な方針を立て、地域住民と協議しながら進めていくべき問題である。

通学区域の取扱いについては、当面現行のままとするが、区域境の地域については弾力的運用に努める。また、児童生徒数の動向を踏まえ、新市において速やかに各学校の適正規模、適正配置の検討と合わせて通学区域の見直しを行う。

協議事項（２）

義務教育施設の課題と合併後の取扱いについて

教育委員会分科会事務事業等現況調書より

市町名	耐震補強工事・大規模改修工事の予定等
古川市	今後の耐震結果により対応。 なお、大規模修繕事業は南中建設を優先させていることから見直し中につき具体はない。
松山町	平成12年度に松山小学校が耐力度調査を実施、結果危険校舎として平成15年度から平成19年度にかけて改築工事を行う。 平成13年度に松山中学校の耐震調査を行った結果、平成20～21年度以降に大規模改修を行う。
三本木町	【三本木小学校】今後の耐震結果により対応。 【三本木中学校】体育館 14年度に耐力度調査をした結果を受け、16年度全面改築予定。 事業費 784,960千円
鹿島台町	大規模修繕事業等は耐力度調査、耐震診断の結果を踏まえて検討する。 なお、大規模修繕事業等は、他課（町長部局の建設課）に委託
岩出山町	該当なし
鳴子町	今後の耐震診断の結果により対応。 大規模修繕については統合中学校を優先させることとし、今後見直しを行う。
田尻町	【目的】 昭和45年に建設された田尻小学校校舎（教室棟）は、災害など非常時における児童の安全確保や地域住民の緊急避難所としての役割等が求められているため、平成14年度において耐震診断の調査を実施したところ、「補強を要する建物」に該当すると判定されたことに伴い、平成14年度の国の補正予算を利用して早急に地震補強及び大規模改造事業の実施を図る。 【内容】 対象建物：教室棟1棟、鉄筋コンクリート2階建、 A = 1,754m ² 工事概要：補強部分 補強壁2枚 補強柱6本設置 改造部分 外壁改修 一式 内装改修 一式 建具・家具改修 一式 電気設備 一式 機械設備 一式

市町名	鹿島台町
-----	------

No	幼稚園名	設置 年度	敷地面積 単位:m ²	幼児数(上段) 学級数(下段)				園舎の状況								施設整備の課題・懸案事項等	
				3歳	4歳	5歳	計	枝 番	建築 年度	構造	面積 単位:m ²	耐力度 点数	耐震診断		改修・補強工事等		
													実施(予定)	年度	実施の有無		年度
1	鹿島台第一 幼稚園	S45	6,754	-	33	47	80	1	H5	鉄骨	837		未定		未定		比較的新しい園舎であり当面は、耐震診断等をおこなう予定はない。
				-	2	2	4	2	H5	鉄骨	9		未定		未定		
2	鹿島台第二 幼稚園	S45	2,237	-	16	12	28	1	S60	鉄骨	309		未定		未定		耐震診断等は、当面予定はありません。
				-	1	1	2										
3	鹿島台第三 幼稚園	S55	2,816	-	37	24	61	1	S54	鉄骨	825		未定		未定		園舎は、経年18年経過し耐震診断をおこないたいと考えているが、小学校、中学校を優先して考えているので未定の状態である。
				-	2	1	3										
幼児数合計				-	86	83	169										

市町名	岩出山町
-----	------

公立幼稚園なし

【社会教育施設の現況】

市町名	古川市
-----	-----

No	施設名	施設の区分	設置年度	敷地面積 単位: m	建物の状況							併設施設	施設整備の課題・懸案事項等
					建築 年度	構造	延面積 単位: m	耐震診断		改修・補強工事等			
								実施(予定) 年度	年度	実施(予定) 年度	年度		
1	中央公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	3,039	S46	RC	1,259	未定		未定			
2	南地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S55	2,000	S55	鉄骨	470	未定		未定			
3	志田地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	1,686	S52	鉄骨	542	未定		未定			
4	西古川地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	2,718	S47	木造	496	未定		未定			
5	東大崎地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	4,059	S53	鉄骨	562	未定		未定			
6	宮沢地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	3,341	S53	鉄骨	815	未定		未定			
7	長岡地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	3,140	S54	鉄骨	560	未定		未定			
8	富永地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	2,789	S50	鉄骨	565	未定		未定			
9	敷玉地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	3,067	S49	鉄骨	615	未定		未定			
10	高倉地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	1,554	S55	鉄骨	531	未定		未定			
11	清滝地区公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S26	3,924	S51	鉄骨	496	未定		未定			
12	勤労青少年ホーム	公民館・勤労青少年ホーム等	S46	3,039	S46	RC	753	未定		未定			
13	図書館	図書館等	S35	1,488	S53	RC	1,519	未定		未定			施設の老朽化が進んでいる。大規模改修が必要。 ・駐車場が狭隘。
14	吉野作造記念館	博物館・資料館等	H7	8,322	H6	RC	1,725	未定		未定			
15	総合体育館	体育館	S56	26,361	S56	RC	7,400	未定		未定			
16	武道館	体育館	S55	15と同一	S55	RC	1,001	未定		未定			
17	市民プール(アクア・パル)	プール	H7	11,700	H7	RC	5,880	未定		未定			
18	市民会館	公会堂・市民会館等	S41	10,486	S41	RC	2,731	実施済み	H15	未定			
19	祥雲閣・龍華庵	その他文化施設	H6	5,882	H5	木造	647	未定		未定			
20	市民ギャラリー「緒絶の館」	博物館・資料館等	H8	1,503	H8	RC	523	未定		未定			
21	出土文化財管理センター	その他文化施設	H5	1,600	H5	RC	750	未定		未定			
22	古川市屋内運動場	体育館	H9	15と同一	H10	鉄骨	1,222	未定		未定			
23	ササニシキ資料館	博物館・資料館等	S59	1,206	S58	RC	396	未定		未定			

市町名	松山町
-----	-----

No	施設名	施設の区分	設置年度	敷地面積 単位: m ²	建物の状況							併設施設	施設整備の課題・懸案事項等
					建築 年度	構造	延面積 単位: m ²	耐震診断		改修・補強工事等			
								実施(予定) 年度	年度	実施(予定) 年度	年度		
1	志田広域働く婦人の家	公民館・勤労青少年ホーム等	S56/H3	6,068	S56/H3	RC	1,959	未定		未定		松山町青少年交流館	本年7月26日の地震により青少年交流館の屋根及び天井に甚大な被害を被り本年中に復旧工事を施工。
2	下伊場野公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S52	989	S52	鉄骨	404	未定		未定			利用頻度が低く、維持管理費等を考慮し、将来は取り壊しを検討中。
3	ふるさと歴史館	博物館・資料館等	H1	1の一部	H1	RC	426	未定		未定			
4	B&G海洋センター	体育館	S62	13,080	S62	RC + 鉄骨	2,250	未定		未定			25m室内プール有り、現在開設期間は、6月1日～9月30日まで。(ボイラー設備有り、冬期間も使用可)
5	ゲートボール場	その他体育施設	S59	2,983	S59	木造	35	未定		未定			ゲートボール場4面、休憩棟1棟。
6	相撲場	その他体育施設	S43	493		木造							屋根付き屋外相撲場
7	町民運動場	その他体育施設	S55	12,534									野球場のサブグラウンド的施設。
8	松山野球場	野球場	S58	16,429	S58	RC	474	未定		未定			公認野球場
9	町営庭球場	その他体育施設	S54	3,000									コート6面、ナイター施設4面
10	町民体育館	体育館	S45	2,480	S45	RC	1,113	未定		未定			老朽化に伴い取り壊し検討中
11	体育研修センター	その他体育施設	H2	7,820	H2	木造	499	未定		未定			B & G海洋センター・テニスコート・野球場・町民運動場等を利用しながらの宿泊研修施設。
12	老人福祉センター	その他	S55	1の一部	S55	RC	562	未定		未定			本来福祉施設であるが、管理を委任されている。子育てグループ等の活動の場として利用されている。

市町名	鹿島台町
-----	------

No	施設名	施設の区分	設置年度	敷地面積 単位: m ²	建物の状況							併設施設	施設整備の課題・懸案事項等
					建築 年度	構造	延面積 単位: m ²	耐震診断		改修・補強工事等			
								実施(予定) 年度	未定	実施(予定) 年度	未定		
1	鹿島台町公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S35	3,989	s51	RC	2,038	未定		未定		鹿島台町勤労青少年ホ	地震災害により一部施設転用
2	鎌田記念ホール	体育館・その他文化施設	H11	4,171	H11	RC	4,126	未定		未定		展示室・資料館	
3	中央野球場	野球場	H11	13,836	H11	RC	1,488	未定		未定			
4	テニスコート	その他体育施設	H11	1,556	H11								
5	ゲートボール場	その他体育施設	H11	3,300	H11								
6	多目的グラウンド	その他体育施設	H11	12,590	H11								
7	サブグラウンド	その他体育施設	H11	6,400	H11								
8	町営野球場	野球場	H1	21,466	H1	RC	320	未定		未定		バックスクリーン	
9	農家高齢者創作館	公民館・勤労青少年ホーム等	S49	1,876	S49	木造	246	未定		未定		陶芸窯場・陶芸作業場	施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修が必要。
10	武道館	体育館	S48		S48	鉄骨	264	未定		未定			施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修が必要。

市町名	岩出山町
-----	------

No	施設名	施設の区分	設置年度	敷地面積 単位: m ²	建物の状況							併設施設	施設整備の課題・懸案事項等
					建築 年度	構造	延面積 単位: m ²	耐震診断		改修・補強工事等			
								実施(予定)	年度	実施(予定)	年度		
1	岩出山町生涯学習センター	公民館・勤労青少年ホーム等	H3	6,308	H2	RC	1,436	未定	未定	実施予定	未定	文化会館	風雨による雨漏りのため外壁(クラック)改修工事が急務
2	真山地区館(真山活性化センター)	公民館・勤労青少年ホーム等	H8	47,351	H14	木造	485						
3	池月地区館(池月地域づくりセンター)	公民館・勤労青少年ホーム等	H8	1,157	H13	RC	521						
4	上野目地区館(高齢者コミュニティセンター)	公民館・勤労青少年ホーム等	H9	3,064	S56	木造	337			未定	未定		施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修が必要。
5	西大崎地区館(農家高齢者創作館)	公民館・勤労青少年ホーム等	H9	1,598	S53	木造	255			未定	未定		施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修が必要。
6	岩出山地区館(県有・借地)	公民館・勤労青少年ホーム等	H13	1,711	S41	RC	496						
7	岩出山町文化会館	公会堂・市民会館等	H3	1と併設	H2	RC	2,093	未定	未定	実施予定	未定	生涯学習センター	風雨による雨漏りのため外壁(クラック)改修工事が急務
8	岩出山町文化体育センター	体育館	S49	13,451	S49	RC + 鉄骨	1,935			未定	未定	武道館	施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修又は建替えが必要。
9	一栗町民体育館	体育館	H8	14,392	H8	鉄骨	915						
10	真山町民体育館	体育館	H8	22,492	H8	鉄骨	626			未定	未定		施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修又は建替えが必要。
11	岩出山町武道館	体育館	S63	8と併設	S62	鉄骨	626			未定	未定	文化体育センター	施設の老朽化が進んでいるため、改修が必要。
12	岩出山町ふれあい屋内運動場	体育館	H11	4と併設	H11	木造	672					上野目地区館	
13	岩出山町町営野球場	野球場	S53	22,835	S53		11,583						施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修が必要。
14	岩出山町庭球場	その他体育施設	S56	6,000	S56		1,500						施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修が必要。
15	岩出山町町民いこいの森	その他体育施設	S62	860,000	S62		管理施設(32,667)					キャンプ場、アスレチック	施設の老朽化が進んでいるため、大規模改修が必要。

市町名	鳴子町
-----	-----

No	施設名	施設の区分	設置年度	敷地面積 単位: m ²	建物の状況							併設施設	施設整備の課題・懸案事項等
					建築 年度	構造	延面積 単位: m ²	耐震診断		改修・補強工事等			
								実施(予定) 年度	年度	実施(予定) 年度	年度		
1	中央公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S29	3,537	S51	RC	3,849	未定		未定			外観的な改修工事を行ったが、耐震的な補強工事は行っていないので、懸案事項として上げられる。
2	川渡公民館	公民館・勤労青少年ホーム等		3,530	S57	RC	1,053	未定		未定		出張所・保健センター	当該建築物は、保健関係の補助事業で建設されたもので、当該建物に出張所と公民館が入っているのは、目的外使用となつて
3	鬼首公民館	公民館・勤労青少年ホーム等		2,698	S62	木造	745	未定		未定		基幹集落センター・出張所	当該建物については、農林関係の補助事業で建設したため、所管が観光農林課となっている。
4	鳴子町スポーツセンター	体育館	S37	5,798	S53	RC	2,240	未定		未定			施設の老朽化が進み、アリーナの床面の改修が必要
5	鬼首リフレッシュセンター	体育館	S63	728	S63	木造	728	未定		未定			敷地は、基幹集落センター内に含む
6	東鳴子近隣公園(野球場)	その他体育施設	S48	12,563									
7	江合川緑地公園(野球場・テニスコート・ゲートボール場)	その他体育施設	S56	49,698									
8	江合川下流河川公園(野球場・多目的グラウンド)	その他体育施設	H15	19,977									
9	森林スポーツ公園(テニスコート・ディスクゴルフ)	その他体育施設	S61	18,218								林間広場,総合案内施設,駐車場,歩道等併設	

市町名	田尻町
-----	-----

No	施設名	施設の区分	設置年度	敷地面積 単位: m ²	建物の状況							併設施設	施設整備の課題・懸案事項等
					建築 年度	構造	延面積 単位: m ²	耐震診断		改修・補強工事等			
								実施(予定) 年度	未定	実施(予定) 年度	未定		
1	中央公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S35		S61	RC	2,357	未定		未定		勤労青少年ホーム・老人福祉センター・文化センター	
2	田尻公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S35		H元	RC	1,703	未定		未定		農村環境改善センター	
3	大貫公民館	公民館・勤労青少年ホーム等	S35		H元	RC	908	未定		未定		働く婦人の家	
4	田尻町総合体育館	体育館	H6		H5	鉄骨	5,486	未定		未定			
5	郷土資料館	博物館・資料館等				木造		未定		未定			
6	勤労者体育センター	体育館				RC		未定		未定			
7	中央公民館体育館	体育館				鉄骨		実施予定		未定			老朽化が進み、改修工事にはかなりの経費がかかる。なお、現在のままでの使用は可能
8	田尻公民館多目的グラウンド	その他体育施設	H6										
9	スキップセンターパークゴルフ場	その他体育施設	H12										
10	スキップセンターテニスコート	その他体育施設	H8										
11	中央公民館パークゴルフ場	その他体育施設	H12										
12	総合体育館グラウンド	その他体育施設	H6										
13	総合体育館サッカー場	その他体育施設	H11										
14	農村運動公園グラウンド	その他体育施設											
15	農村運動公園テニスコート	その他体育施設											
16	大貫公民館グラウンド	その他体育施設											
17	加護坊山パークゴルフ場	その他体育施設											

施設の区分欄については、各施設を公民館・勤労青少年ホーム等、公会堂・市民会館、博物館・資料館等、図書館等、体育館、プール、野球場、その他文化施設、その他体育施設に分類して表示

協議事項（４）

次回会議の開催について

次回会議の開催については、下記のとおり提案する。

記

1 開催日時

平成15年11月20日（木）
午後1時30分から

2 場所

宮城県古川合同庁舎 1階 大会議室